JPTU プラス 1

２０１６年１月１日〔金〕No.111-1
九州旅客鉄道労働組合
鹿児島地方本部
発行責任者　江口洋一
編集責任者　久富祐介

鹿児島地方本部
執行委員長　江口洋一

組合員・家族の皆さま、新年明けましておめでとうございます。

日頃より鹿児島地方本部の運動に対しましてご理解とご協力を頂き、感謝を申し上げます。

また、日頃からお客さまの安全を第一に日夜奮闘されている組合員の皆様に敬意を表します。

昨年はアベノミクスの恩恵も一部大企業や特定の人達だけに限られ、更には国民の半数以上が反対している中で、戦争のできる国へと導くような、安全保障関連法案の強行採決や、正社員への道を閉ざす事となる労働者派遣法の成立など、地方や国民の声を聞くこともなく、国会議員の数の力だけで、日本の将来を決めようとする、立憲主義を脅かす危険な一面が覗かれた一年でありました。

そのような中、６月３日「ＪＲ会社法改正法案」が参議院本会議において可決成立し、平成２８年度中の株式上場への道筋が整い、懸案でありました経営安定基金の取り扱いも決まり、当面の鉄道事業の方向性も示された直後、ＪＲ九州の地域性などの特情を考慮し、ＪＲ移行時から認められてきた税制特例措置について段階的な経過措置を行い、平成３１年度から減免措置は行わない事が２０１６年度の税制大綱により明らかになりました。

私たちは、これまで大きな夢と希望を持ちながら、お客さまの安全を第一に、安全・安定輸送に努め、株式上場への努力を行ってまいりました。

しかし、会社はこの厳しい状況を踏まえ、更なる鉄道事業の赤字縮小を行うために、今後これまで以上の効率化施策を推し進めてくることが予想されます。

このような大変厳しい状況だからこそ、労働組合の存在意義を高め、鹿児島地本全組合員が問題解決のためにしっかりと団結する事が必要であります。

鹿児島地方本部も、これからのＪＲ九州労組を担っていく若手役員への労働運動の継承も行いながら、組合員・家族の幸せに向けて雇用と労働条件の維持向上に全力で取り組んでまいります。本年も皆さまからの一層のご支援をお願い申し上げます。

鹿児島地方本部
書記長　上仮屋浩二

明けましておめでとうございます。

さて、昨年は様々な効率化施策があり正直、戸惑うことばかりでありました。今後も株式上場を見据えて様々な効率化施策が想定されます。毅然とした態度で臨んでいこうと思います。

昨年の大会以降、鹿児島地方本部の執行部は、大きく若返りました。また今後、２年後、４年後を見据えてどの様に作っていくか、大切な時期になっております。諸先輩方の背中を見ながら今後のＪＲ九州労組の未来を切り拓いていく決意であります。今年も宜しくお願い致します。

謹賀新年

ＪＲ九州労組のホームページが見やすくなったよ　@(･ｪ･)@ ウキャ

他の機関紙も要チェック！

申

JRTU プラス 1

２０１６年１月１日〔金〕No.111-2
九州旅客鉄道労働組合
鹿児島地方本部
発行責任者　江口洋一
編集責任者　久富祐介

鹿児島地本役員２０１６年の挨拶

執行副委員長　**前原　弘志**
都城駅

あけましておめでとうございます。明るい明日を目指して、皆さんと共に頑張っていきたいと思います。

執行副委員長　**川畑　清巳**
川内駅

あけましておめでとうございます。今年は１カ月の内、10日は仕事、10日は組合、10日は愛する孫という配分でがんばります。

執行副委員長　**日高　光英**
鹿児島乗務センター

新春を迎え、株式上場の年、気を引き締めて共に頑張ります。

執行委員　**青木　幹雄**
鹿児島乗務センター

継続は力なり。
本年もよろしくお願い申しあげます。

執行委員　**小浦　孝平**
鹿児島指令

足を運んで、みんなの前に顔を出して行こうと思います。

執行委員　**夏迫　貴康**
宮崎乗務センター

皆さんに、ご迷惑をかけないように頑張ります。

執行委員　**久富　祐介**
鹿児島乗務センター

皆さまに新しい情報を発信できるように頑張ります。

執行委員　**前田　翔**
宮崎工務センター

宮崎地区でも鹿児島地区でも一生懸命頑張ります。

執行委員　**中野　みき**
鹿児島中央駅

まだまだ至らない点もあり迷惑をかけてばかりですが、今後ともお願い致します。

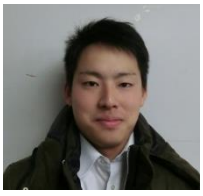
執行委員　**米元　弘樹**
国分工務センター

仕事、家庭、組合とバランスよく頑張っていきたいと思います。

執行委員　**進　基輝**
宮崎駅

まだ分からない事も多いですが、勉強して頑張ります。

執行委員　**武内　大樹**
鹿児島中央駅



分からないことだらけですが頑張りますので、よろしくお願いします。

青年女性委員長　**立川　大地**
鹿児島乗務センター

青年・女性委員会らしく失敗を恐れず、新しい事にチャレンジする。